

夏の大三角

基礎③

夏の大三角

夏の夜、空を見上げると、東の高いところに、明るい星が三つ、大きな三角形をつくっているのが見つかります。これを、夏の大三角といいます。

三つの星のうち、いちばん明るい白い星が、こと座のベガです。日本では、七夕のおりひめ星として知られています。

ベガから少しはなれたところにあるのが、わし座のアルタイルです。こちらは、ひこ星として知られています。

もう一つの星は、はくちょう座のデネブです。はくちょう座は、大きな鳥がつばさを広げて飛んでいるような形をしています。

夜空の暗い場所で見ると、ベガとアルタイルの間に、天の川がうっすらと流れているのが見えます。七夕の話では、おりひめとひこ星は、この天の川をはさんで、年に一度だけ会えるとされています。

夏の大三角は、空が暗くなる夜八時ごろから、東の空の高いところで見つけやすくなります。明るい町の中でも、ベガとアルタイルは見つけやすい星です。

1 三つの明るい星がつくる三角形を、何といいますか。



2 セタのおりひめ星として知られているのは、どの星ですか。

ア ベガ
イ アルタイル
ウ デネブ

3 デネブは、何ぞの星ですか。



座

4 ベガとアルタイルの間に流れているのは、何ですか。

ア 天の川
イ 流れ星
ウ 雲